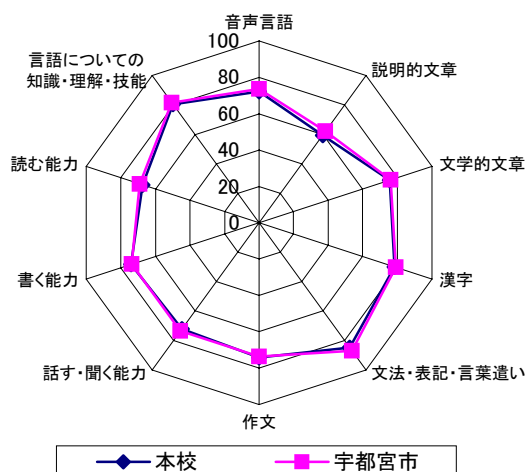


宇都宮市立瑞穂野中学校第2学年【国語】領域別／観点別正答率

★本年度の宇都宮市と本校の状況

		本年度	
		本校	宇都宮市
領域別	音声言語	72.2	73.7
	説明的文章	59.5	62.1
	文学的文章	75.4	76.1
	漢字	78.3	79.0
	文法・表記・言葉遣い	84.8	87.0
	作文	74.1	73.5
観点別	話す・聞く能力	72.2	73.7
	書く能力	74.1	73.5
	読む能力	67.5	69.1
	言語についての知識・理解・技能	80.5	81.6



★指導の工夫と改善

領域	本年度の状況	今後の指導の重点
音声言語 (72.2%)	平均正答率は80%を下回り、宇都宮市の平均よりも1.5%下回っている。スピーチの内容を正しく聞き取るだけでなく、発表者の主張の意図や根拠を的確にとらえている。	正しく聞き取ることだけでなく、意図をつかんだり聞き取った意見を総合してまとめさせたりする力もつけさせていきたい。
説明的文章 (59.5%)	平均正答率は、宇都宮市の平均よりも1.6%下回っている。特に、段落の構成や展開をとらえる力が不足している。	教科書の文章の他に説明的文章を読む機会を増やし、段落の構成を考えたりや要点をまとめたりする学習に力を入れていきたい。
文学的文章 (75.4%)	平均正答率は80%を下回り、宇都宮市の平均よりも0.7%下回っている。特に登場人物の心情をとらえたり、行動の意味するところを考える力が不足している。	読書の時間を大切にするとともに、教科書の文章の他に文学的文章を読む機会を増やし、登場人物の心情を考える学習に力を入れていきたい。
漢字 (78.3%)	平均正答率は80%を下回り、宇都宮市の平均よりも0.7%下回っている。ただ、漢字の読みの問題についてはほぼ100%に近い正答率だが、書きの問題はそれに比べて5割程度しか正答していない。	これからも漢字ノートの活用を続けると共に、漢字の小テストなどを取り入れ、特に漢字の書き取りに力を入れたい。
文法・表記・言葉遣い (84.8%)	平均正答率は80%を上回っているが、宇都宮市の平均よりも約2%下回っている。特に「対義語」の問題は正答率が高かった。	生徒が購入している便覧を活用し、自作の問題や小テストに取り組ませたい。
作文 (74.1%)	平均正答率は80%を下回っているが、宇都宮市の平均よりも若干上回っている。特に「無回答」の割合が高く、はじめから作文の課題に取り組む意欲に欠けている生徒が多く	学校行事などで文章を書く機会を増やし、書くことに慣れさせていく。また、国語の授業では、体験文や意見文などのまとまった長文を書くだけでなく、比喩表現や